

カトレヤ

2025 Winter

138
令和7年

Cattleya

川内市医師会立市民病院



令和6年12月4日 出前講座 本城自治会館

CONTENTS

特集 新年のご挨拶
外来担当医師一覧／新人紹介
第9回市民公開講座開催
ニュース
身体に優しい健康レシピ
リレーエッセイ

基本理念

私たちは、地域の中核病院として、急性期医療を推進し、安全で信頼される医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、信頼され満足される医療を目指します。
2. 質の高い急性期医療を推進し、高次救急医療の確立を目指します。
3. 地域包括ケアシステムの推進に伴い、地域の医療機関と連携し、地域完結型医療の確立とリハビリテーションの充実を目指します。
4. 職員が互いに尊重しあう職場作りをめざし、チーム医療の充実に努めます。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 自分の病気について納得するまで十分な説明を受け、その上で検査や治療を選択すると共に、セカンドオピニオンを含め医療機関を決定する権利があります。
3. 個人の情報は保護される権利があります。
4. 自分の診療内容について知る権利があります。

新年の ご挨拶

病院長

田實 謙一郎

二〇二五年



皆さん、あけましておめでとございます。

年末年始、非常に多くの外来患者、入院患者、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ感染症の感染対策など目まぐるしい日々だったと思います。これまででない年末年始の忙しさで、まずは職員の頑張りにこの場を借りてお礼申し上げます。

さて、二〇二四年は当院にとって大変厳しい一年となりました。そしてこれは当院のみならず、日本中の急性期中核病院の偽らざる気持ちだと思います。

決して救急患者が減っているとかで

はありません。実際、働いている職員は楽になった実感はないと思います。しかし、急性期診療で得られる診療報酬とそれに伴う費用のバランスがとれず、さらに物価の高騰、働き方改革、人手不足などの影響で、急性期中核病院の運営は非常に厳しいのが実情です。さらに今後予想される急速な人口減少に伴う患者減、高齢化に伴う疾患の変化により、病院自身も変わらなければ持続できないフェーズに入っています。

しかし、地域医療は地域全体でそれぞれの役割をこなしながら支えあつて成立するものです。すなわち病院を変えるというのは、病院単独でできることではなく、地域全体で医療体制を考へて、それぞれの病院の今後の在り方、川薩地区での地域医療へのかかわり方を改めて見直すということであり、そのため二〇二四年暮れから済生会川内病院、行政も交えて話し合いが始まっています。二〇二五年は今ほんやりしている将来像を明瞭にし、具体的な方向性を打ち出すことが目標になるのではないのでしょうか。

もちろん病院単独でもできることは取り組んでいかなければなりません。断らない医療、周囲の病院との連携強化、病床運用の見直し、支出の見直し

など取り組んでいきます。通常業務で大変忙しいと思いますが、職員の協力は成し得ない取り組みですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

また、重要なことが一点。これらは病院側の事情であり、来院される患者さんにとっては関係なく、皆これまで通り市民病院を頼って来院されます。先日、地域の関連病院を訪問し話をし、参りましたが、当院への急性期病院としてのニーズが減っているとは思えません。病院外の医療状況はめまぐるしく変化していますが、職員はこれまで同様、それぞれの業務に向き合っていただけだと思います。職員の向上心、各部署における学習意欲には病院としても応えていきます。また悩みなどあるときはそれを受け入れる体制も整備しておりますので抱え込まないでください。

なお、今年には外来改装、事務部の改築、ホームページの一新、部署内の問題解決のツール導入など目に見えた変化も予定されています。苦しい時期ではありますが、数年後に二〇二五年がターニングポイントになったと感じることができるよう、そんな一年を目標とすることで新年のあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶

副院長
小川 正一

二〇二五年を迎えることができただね、みなさん、おめでとございます。

今年の目標ですが、「継続は力なり！」でいきましょう。

難しいことではありません。今できることを確実にに行いましょう。

そして継続しましょう。

少し余力があれば周りにも目を向けて声掛けをし、足りないことがあれば協力して埋め合います。

そして継続しましょう。

残念ながら医療業界も難しい時代になっていてと考えるを得ませんが、二〇二四年はみなさんにご尽力いただいたので、内容自体は充実していたと思います。みなさん頑張っていたと思いますよ。ありがとうございます。🌸。なかなか結果は出ませんが、季節に左右されるところもありません。

そして継続しましょう。

そしてみなさんへのお願いです。

感染には十二分に注意しましょう。家庭内感染の防御は限界があると思いますが、ご家族への声掛けや健康管理も声掛けしましょう。個人としては院内感染の原因とならないように注意しましょう。あらゆる方が健康面で困らないように予防しましょう。

そして継続しましょう。

昨年の年初の挨拶では、人間力を磨きましようという提案させていただきました。みなさんの人間力アップしましたか？私は小さい人間なのでほとんどアップすることはありませんが、ほんの少しは失らなくなりました。これでも以前よりもマイルドになったつもりです。

周りの方が自分をみてくれていることを覚えていてください。もちろん悪いこともみえています。素晴らしい加減などところもみえています。でも、いいこと、いいところも気遣いも、優しいところも、諦めずに最後までしっかりするとところもみえています。なかなか評価してもらえないかも知れませんが、みんなどこかでみてくれていますよ。評価を気にする必要はありませんし見える形での評価はないかも知れませんが、あなたの人間性、人間力はみえています。十二分に評価してくれていると思います。継続しましょう。

さあ、みなさん継続しましょう。

二〇二五年末に、みなさんが体調もよく今年一年しっかり継続できたと充実を感じられる一年になりますように。

新年のご挨拶

副院長
神園 純一

新年明けましておめでとございます。今年もよろしくお願いたします。

皆さんはどんな年末年始を過ごされたでしょうか？私という、年内は三十日まで緊急手術、三十一日はタジ引きではずれて・(・)日直、オンコール業務と年内は忙しく過ごしましたが、年明けからはここ数年の中でも一番ゆつくりと過ごすことができました。親戚の集まりに参加したり、二十歳になった大学生の息子が帰省しましたので、初心者マークをつけて一緒に車の運転の練習をしたり、高校生の娘のテニスの試合を見に行ったり、高校受験を控えた塾の正月特訓で忙しい中学生の娘の塾への送り迎えをしたり、とふだんあまり出来ていない(やっていない)ことが出来ました。新しい年も頑張っていけるようにリフレッシュできたと思います。

さて、二〇二四年は、新型コロナウイルスの影響が徐々に落ち着きを見せる中で、医療制度の変化や高齢化社会の進展など、新たな課題が浮き彫りになりました。身近な事としては、二〇二四年は「医師の働き方改革」が本格的に進んだ年でした。この改革の影響は、今年も引き続き医療現場に大きな変化をもたらすことが予想されます。二〇二四年の年末に鹿児島大学整形外科教室主催の西日本整形・災害外

科学会学術集会在鹿児島市中で開催されました。「働き方改革の功罪」という特別企画が組まれており聴講しましたが、非常に興味深い内容でした。環境整備により手術症例数や売り上げを減らすことなく時間外労働を減らすことができた、タスクシフトの推進として専属クラークや診療看護師の専属配置が非常に有用であったという成功例の報告がある一方で、働き方改革によって時間外労働短縮の意識付けはできたものの実務としての改善にはつながっていない、キャリア・スキルアップを望む者への弊害、給与面の悪化など問題山積みである、という意見も出ていました。各施設のバックグラウンドが違うので一概に比較はできないでしょうけど、施設毎の取組み方によって結果にずいぶん差がある印象を受けました。医療現場における生成AIの活用についての話題もあり、業務効率化に生成AIは欠かせないものになりそう(なっている)です。私はこの分野に詳しくはないのですが、興味があつて生成AIのマニュアル本やweb記事に目を通して見ましたが、この分野は本気で取り組んでいかないと時代遅れになって取り残されていくと感じました。私事ですが、五十歳となりはじめて迎えたお正月でした。例えばそろばんを使っていたのが電卓になり、それがまたエクセルになるといったように進化をしていくわけですが、便利なものを合理的に使っていくということが必要なのにそれに取り残される考え方を「昭和脳」と呼ぶそうです。心当たりがありますので気をつけたいと思います。

業務の効率化がすすみ、病院の収益もあがり、私たち職員もその家族もみんながハッピーになる未来を目指したいですね。皆さん、今年も一年間よろしくお願いたします。

新年のご挨拶



看護部長

田口 弥生

二〇二五年新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年度は皆様のご協力とお力添えがあり、急性期病棟入院基本料1の維持、これまで目標としていた回復期リハビリテーション病棟入院基本料1の取得も承認されました。地域医療支援病院としての役割を果たすべく、地域の方々と連携し、地域になくてはならない病院でありつづけられるよう努力し、より一層、職員一丸となり「質の高い看護」の維持に努めてまいります。

この一年間、院内では外来改修工事計画、地域医療連携室・診療情報管理室等の改修工事計画、病棟個室改修計画、PFMの異動、広報システムの検討、人材確保にむけたホームページリニューアルへと様々な計画を進めてきました。今年も、これらの実践になり、今まで以上に皆様のご理解とご協力が必要となります。ひとつひとつが無事に、そして安全に進むことを願い、患者様そして働

く皆様においても、より良い環境となるよう取り組んでまいります。移り変わる社会の中で、転ばないようにする力ではなく、バランスを崩したときにどう立ち直すか、転んだ後にどう立ち上がるかという力、さらに自分の頭で考え、状況に応じて柔軟に生きていける力が必要と感じています。望ましい未来のために、自分や社会をどう変えていくべきか、学びの意識を持って取り組みたいと思います。

二〇二五年も患者様とご家族様を支え、看護ケアを提供するスタッフの皆様を大切に見守り、支援し、セル看護提供方式のもと看護チームの向上を図り、地域の皆様に満足していただけるよう、より良い看護の提供にむけて取り組んでまいります。そしてこれまでの看護実践の積み重ねを見える形にし、互いに感動を分かち合え、少しでも多くの幸せに繋がれば幸いに存じます。皆様方におきまして素晴らしい一年となりますよう、祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶



事務部長

馬場 祥一

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、元旦に能登半島地震が発生しました。日本のみならず世界各地で異常気象の影響による風水害が多発し、自然の脅威を痛感いたしました。原発を抱え、地震多発地帯にある本院としても決して他人事ではなく、災害や大規模事故に適切に対応できる体制づくりの重要性を改めて実感した一年でした。また、日本を始め各国で政情が不安定化し、先の見えない状況となってきた一年でもありました。

医療界においては、コロナ禍が落ち着きを取り戻しつつありますが、診療報酬改定により急性期病床の在院日数や看護必要度などの基準がより厳しくなるとともに、物価や人件費の高騰、看護師などの医療従事者不足による病床制限、医師の働き方改革なども相まって、多くの医療機関の経営が悪化しています。このような厳しい医療・経営環境下においても、当院には地域医療支援病院としての役割をしっかりと果たしていくことが求められています。

当院としては、地域医療の中核的病院として二次救急医療・急性期医療の機能を維持するため、地域の医療機関にご協

力をお願いし、連携を図りながら、高齢化で大きく変化する医療需要に 대응してまいりました。住民の方々が住み慣れた地域で生活される上で健康に過ごすことは重要な課題です。これからは医療機関のみで地域の皆様の健康を守ることは難しくなっていくことから、地域医療を守っていくためには、一次・二次・三次医療機関それぞれの強みを生かし、一層の連携を深めていくことが必要となります。また、今後、当院が地域に信頼される病院となるためには、患者様・ご家族様への必要な説明を十分行い、情報共有を図るなど、患者様・ご家族様の視点に立った良質かつ安心・安全な医療を提供していかなければなりません。

二〇二五年の干支は巳です。経営を取り巻く環境はますます厳しくなるものと考えておりますが、脱皮するへびのごとく当院が成長し、持続的に質の高い医療の提供と経営の効率的・安定的な運営を行うためには、職員一人一人が患者目線に立ったチーム医療に徹し地域医療へ貢献するという強い決意を持つこと、また、経営状況を理解し、コスト意識を持って日々の業務に邁進することが重要です。このことを職員一人一人が認識し、一致団結してこの難局を乗り越えていくことが大切です。このことから、引き続き、皆様方のご協力をいただきますとともに、情報を共有し体制強化を図りつつ、共に当院を盛り上げてまいりますと考えています。

この一年、職員の皆様方には多大なご協力とご苦勞をいただきましたことに対し、改めて謝意と深い感謝を申し上げます。

終わりに、皆様方にとって心身ともに健康で希望に満ちた一年になりますことをご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。

◆川内市医師会立市民病院 外来診察日程 (担当医師一覧)

- ※ 当院は予約診療となっております。診療科の診察日をご確認の上、予約担当者へご連絡下さい。
- ※ 心臓血管外科は、蘇我教授は心臓外科・大血管、向原医師は血管外科全般となります。予約の際は、確認の上、ご連絡ください。
- ※ 救急患者につきましては、土曜日でも平日同様に対応いたします。

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
循環器内科	小川 正一 小瀬戸一平		検査日		小川 正一 野崎 圭吾 安藤慶之介	永坂 優樹	検査日		小川 正一 西 晴香	
脳神経内科	(南)甲斐祐介	(初)田邊 肇	徳田 真				(初)甲斐祐介		(南)田邊 肇	
呼吸器内科		検査	巖元 陽洋 下馬達雄一 小園 智樹			検査	巖元 陽洋 下馬達雄一 小園 智樹			検査
消化器内科	藤本 敦				巖元 亮	(南)藤原 貴之 (5日・19日)	巖元 亮 森器 周祐		巖元 亮	
外科	中藤 俊博 梶島健太郎 (南)石部良平		手術日		中藤 俊博 梶島健太郎 (南)石部良平		手術日		中藤 俊博 梶島健太郎 (南)石部良平	
脳神経外科	田實謙一郎		手術日		田實謙一郎		時村 洋			
整形外科	手術日		神園 純一 佐保 米津		手術日		川上 広高 吉野 真人		手術日	
放射線科	三木 徹生		三木 徹生		三木 徹生	検査	三木 徹生		三木 徹生	検査
リハビリ科	(南)石部 良平		(南)石部 良平		(南)石部 良平		(南)石部 良平		西澤 輝彦	
心臓血管外科			向原 公介 (毎週)	曾我 欣治 (18日)				曾我 欣治 (8日)		
泌尿器科	大学派遣医師									
内分泌科					足達 良					
リウマチ科									大坪 秀雄 (14日)	
高血圧内科	大石 亮 (3日)								上田 和弘 (13日・27日)	
呼吸器外科									藤永 拓也 (7日・21日)	

* 外来受付時間 8:30 ~ 11:30

新人紹介

10月~12月までに私達の仲間となったスタッフをご紹介します。どうぞよろしくお祈りします。



花立 幸子
3階病棟
看護師

12月より入職致しました。まだ慣れないことばかりで迷惑をかけてしまうことが多々あると思いますが、1日でも早く業務に慣れ、当院に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお祈り致します。



木場 優
3階病棟
看護師

11月より入職いたしました。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、1日でも早く慣れて仕事を覚えていけるように頑張ります。よろしくお祈りします。



古菌 祐子
3階病棟
看護助手

12月より看護助手として入職いたしました。病院での勤務は初めてで、一からご指導いただいております。1日でも早く貢献できるように頑張っております。よろしくお祈りいたします。



賦匂 明香
回復リハビリ病棟
看護助手

12月より看護助手として入職致しました。不慣れな点が多く、ご迷惑をおかけすること多々あるかと思いますが、一日でも早く仕事を覚えられるように一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお祈り致します。



當房 和己
麻酔科 医師

令和6年10月1日より麻酔科に赴任しました。前任は南さつま市の整形外科の病院で、大学病院退職後18年勤務しておりました。当院に赴任して、まず手術室のスタッフの元氣・動きの良さに感動し、また薬剤部、放射線部や医師サポなどとの連携もスムーズでストレスなく勤務することができています。前任が整形外科単科の病院であったため、久しぶりの外科や脳外科の麻酔に新しい刺激を受けながら過ごさせていただいています。手術内での勤務がほとんどですが、時間があれば病院内を散策したいと思っていますのでよろしくお祈り致します。趣味はスポーツ観戦、卓球、ゴルフ、ランニングです。高齢になると環境の変化に順応するのに時間がかかり、なかなか活動できていませんが、体力維持もかねてぼちぼち活動再開しようと思っています。前身の川内市医師会中央病院の開院、市民病院移転改修の時期が私の誕生日、医師としてのスタートとほぼ同時期という何かの縁もあって当院での勤務となったかもしれません(ちょっと強引ですが)。今までの経験を活かし、川薩地域の医療にお役に立てるよう頑張ります。今後ともどうぞよろしくお祈り致します。

第9回市民公開講座を開催しました

「いつまでも元気に歩きつづけよう！」

～いよいよはじまった最新のロボット人工股関節・膝関節手術のお話～
SSプラザせんだい多目的ホール



講師

かみぞの じゅんいち
神園 純一

副院長兼整形外科主任部長

11月2日（土）、季節外れの台風が心配されましたが、お昼からは雨も上がり無事に第9回市民公開講座を開催することができました。

SSプラザせんだいの多目的ホールでは副院長兼整形外科主任部長の神園医師が「いつまでも元気に歩きつづけよう！～いよいよはじまった最新のロボット人工股関節・膝関節手術のお話～」と題して講演し、質疑応答では沢山のご質問をいただきました。

また、ホールや各会議室に設置したブースにもたくさんの方にお越しいただき、お薬や在宅医療の相談や骨密度測定や野菜摂取量測定などを体験されていました。今後も市民公開講座を定期的で開催し、地域の多くの皆様とお会いできたらと思っております。ご参加ありがとうございました。





ブースのご紹介

骨密度測定

骨粗鬆症リエゾンサービス委員会
(放射線技師・看護師)



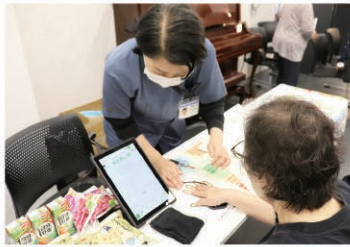
体成分の分析体験

医療技術部
(臨床検査技師・臨床工学技士)



野菜摂取量の測定・栄養相談

栄養管理部
(管理栄養士)



フットケア相談

DCT 部会
(看護師・フットケア指導士)



フットウェア相談

DCT 部会
(理学療法士)



お薬相談

薬剤部
(薬剤師)



健康体操

総合リハビリテーション部
(理学療法士)



脳ドック受付

事務部
(経営サポート室)



救急車展示

バルーン無料配布



在宅医療に関する相談

川内市医師会在宅医療センター
(看護師・社会福祉士)

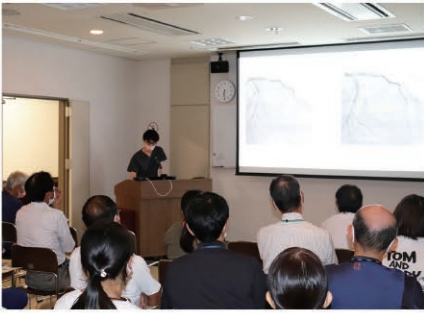


災害時のお薬管理

川内薬剤師会
(薬剤師)



第39回院内学術発表会



10月4日(金)第39回市民病院学術発表会が開催され、診療部、看護部、PFM、医療技術部、事務部より6題の発表がありました。外部参加5名を含む79名が参加し、質疑応答も含め約1時間半、多職種の意見を聞く良い機会となりました。次回は4月に開催予定です。

演題一覧(発表順)

1. PFM
「入退院支援に係わる看護計画充実への取り組み ～個別性のある支援につなげるために～」
2. 回復期リハビリテーション病棟
「種子島スタディー種子島地域在住高齢者の健康寿命延伸につなげる高齢者総合的機能評価～」
3. 総務コンサル課
「消耗品費削減への取り組み」
4. 臨床工学課
「医療機器管理システムを活用したバーコード管理の有用性」
5. 脳神経外科
「当院での経皮的硬膜下穿孔術の再発、合併症についての検討」
6. 循環器内科
「アレルギー性の機序でステント内再狭窄を繰り返す症例にステロイド全身投与が奏功した1例」

NEWS

Sendai Medical
Association Hospital
October - December



今月のスマイル

防災訓練



11月13日(水)14:00、4階西病棟病室の患者使用充電器が爆発し、火災が発生したという想定で防災訓練を行いました。火災現場での初期消火、通報訓練、負傷者の避難訓練などを行い、訓練終了後には水消火器を使用した初期消火訓練も体験しました。今後も防災訓練の実施と自衛消防体制の見直しを継続し、災害時に迅速に対応できるよう努めてまいります。

職場体験学習 (川内南中学校・川内商工高校)



10月16日(水)より2日間、川内南中学校2年生4名、11月6日(水)より3日間、川内商工高校2年生4名が職場体験に来られ、病棟、リハビリ、保育所の各部署でさまざまな体験を学習されました。また、今回の職場体験には職員の子供さんも多く、仕事に取り組む両親の姿を見て家族のきずなや、職業観をはぐくむことが出来たのではないかと思います。

職場体験学習



10月2日(水)より3日間、川内中央中学校2年生の男子3名、女子1名が職場体験に来られ、保育所、病棟、リハビリの各部署をまわり、配膳や足浴などさまざまな体験を学習されました。将来、一緒に働く仲間としてこの病院に入職してくれたら最高ですね！お待ちしております！



出前講座 (10月～12月)



10月31日
SSブラゼンたい
城MSW



11月12日 総合福祉会館
長嶺リハビリ部長



11月13日 医療機関
内倉看護師



11月14日
職業能力開発校
門柳薬剤師



11月19日
訪問看護ステーション
黒武者看護師



12月4日 本城自治会館
小瀬戸循環器内科部長

毎年、秋は出前講座のシーズンです。(今年は一気に冬になりましたが…)10月から12月にかけてたくさんのお出前講座を開催しました。当院では、今後も積極的に出前講座を開催し、地域との交流、健康づくりのお手伝いができるよう取り組んでまいります。

看護部だより ひまわり Vol.91 より



マイブーム

私のマイブームは、ドライブです。好きな音楽を聴きながら、いつもと違う場所にドライブするのは、いい気分転換になります。最近は休みの日に友達や家族を誘って、美味しいものを食べに行ったり、四季折々の自然を楽しむことができる場所などに出かけることが楽しみの一つです。そのためにインスタグラムでドライブスポットや美味しそうなご飯屋さんを調べ、次の休みに出かける場所をすることも、日々の小さな楽しみです。おすすめの場所などありましたら教えていただけると嬉しいです。



回復リハビリ病棟 新山 美香

第66回

身体に優しい健康レシピ



簡単★ロール白菜

エネルギー（1人分）：130kcal、たんぱく質 5g、脂質 11g、塩分 1.0g

作り方

- ① 白菜を大きめのボウルに入れラップをかけて電子レンジで4分ほど加熱する。
- ② 葉の上に、1～2か所切れ目を入れたウインナーを置き、芯の方からくるくる巻く。
- ③ 耐熱容器（①のボウルでもOK）に並べ、千切りにした生姜をのせ、鶏ガラ顆粒だしをふりかけて、電子レンジで2分ほど加熱する。
- ④ 食べやすい大きさに切って完成。



材料（2人分）

- 白菜……………4枚
- ウインナー……………4本
- 生姜……………3g
- 鶏ガラ顆粒だし……………1g

●栄養メモ

冬を代表する野菜「白菜」は、淡白な味ですが、がん予防が期待されているイソチアシアネートという成分や高血圧の改善に役立つカリウム、免疫機能の維持に必要なビタミンC、他食物繊維など野菜から摂りたい様々な栄養素を含んでいます。

お鍋や炒め物ではない、いつもと違う白菜料理はいかがでしょう。子供にはチーズをのせてもgoodです。

栄養管理部 桑木野 里美

地元奄美から家族で川内に引っ越してきて、もうすぐ丸9年。夫の転職を機に見ず知らずの川内に住むことになり、あの時の私は不安でいっぱいでした。頼りの夫は出張が多く、当時年少だった長男を筆頭に、2歳の長女、そして産まれたばかりの次女を抱えて、川内での生活がスタートしました。

片側2車線の道路にビクビク怯え、高速道路の運転も人生初のチャレンジでした（地元の教習所ではシミュレーター！）。新幹線にも慣れず、川内で降りそびれて出水まで行ったこともありました。

そんな頼りない私を支えてくれたのは、家族や川内で出会った人たちでした。職場の仲間やママ友など、これまでたくさんの人たちに出会い、たくさん助けて頂きました。見知らぬ土地での子育てに不安だった毎日が、今では様々な人たちとの繋がりの中で明るく変化しています。

幼かった我が子たちも成長し、これまでの生活を振り返るとともに、これからも出会った人々たちへの感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

リレーエッセイ

「出会いに感謝」

医師サポート室

山下 久美子